

Urban Design Lab. Magazine

東京大学都市デザイン(西村・北沢・窪田)研究室
工学部都市工学科/工学系研究科都市工学専攻
http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/index-j.html

編集長 : 菊地原徹郎
編集委員 : 中島和也 藤井高広
阿部 正隆 櫻庭 敬子 鈴木 亮平 山下 航司

都市デザイン研に2009年度、秋の新メンバー来る!!

New members have come to Urban Design Laboratory!!

4名の新メンバーが都市デザイン研究室に加わりました。今年は、2名の留学生に加え、まちづくり大学院を卒業された2名の社会人の方々が加わり、研究室の厚みがますます増しそうです。新メンバーにプロフィールや研究室生活の意気込みなどをお聞きしましたのでご紹介します。


Four new members joined Urban Design laboratory, two international students and two part-time Ph.D members who graduated from "MACHIZUKURI" graduate school. We introduce their profiles & eagerness.

M1 神原 康介

新学期最初の研究室会議が、10月12日(月)行われました。M2の発表の後は、10月からの研究室新メンバーであるYoonZoosunさん(D1)と高橋正樹さん(D1)の期待と緊張が入り交じる自己紹介がありました。

研究室会議後は場所を移し、新入生Xuさん(D1)も加わって新入生歓迎会を開催。アットホームな雰囲気の中、新入生は先生方や研究室メンバーと生い立ち話から都市についての話までと密に会話をすることができました。終始笑顔の絶えない楽しいひとときとなりました。

氏名 (Name)	affiliation
	1. place you were born in
	2. hobby & special ability
	3. favorite city
	4. one's motto
	5. eagerness for school life

川崎 泰之 (Kawasaki yasuyuki)	Doctoral course
	1. Katsushika-ku, Tokyo, Japan 2. traveling, swimming, 3. Yokohama, Venic, Takatsu(Kawasaki) 4. Choose the difficult road when hesitating. 5. It is glad to research in the circumstance to be enclosed by wonderful teachers and friendly students. I want to reset myself and study the spectacle.

高橋 正樹 (Takahashi masaki)	Doctoral course
	1. Omuta, Fukuoka (A coal mine town) 2. Walking Playing Jazz(play saxophone) 3. Fukuoka 4. Enjoy Everything 5. I want to think about Machizukuri with all of you.



▲研究室会議にて自己紹介を行うD1 Yoon Zoosunさん

尹 柱善 (YOON Zoosun)	Doctoral course
	1. Anyang-Shi, Korea 2. Singing, Clarinet, Chat 3. Sanbon(山本), Korea 4. You must live as you think, sooner or later, you will think as you live. 5. I want to experience both Japanese and Korean "Maeul-mandeulgi" a lot. I'd like to make many friends from various countries.

徐 桐 (Xu Tong)	Doctoral course
	1. Handan, China 2. cooking, coins-collecting, traveling photographing, etc 3. Beijing 4. To be brave, to be kind. 5. Besides knowledge, I wish I could gain something more, such as the eagerness and ability of hearing the whisperer from the heart of cities.

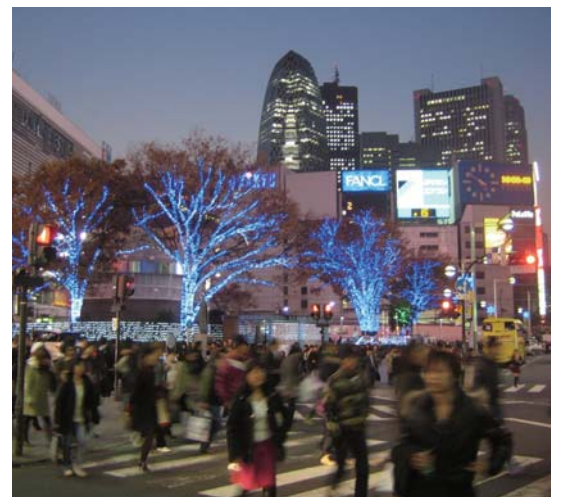


▲都市について語る西村先生とD1高橋さん

"The Japanese Cites -Through Foreign Student's Eye -" No3 Shinjuku D1 Mireille Tchapi

今年度から新たに始まった留学生のエッセイコーナー。前回に引き続きテーマは「留学生から見た日本の都市」。3回目の今回は、フランスから進学しちょうど一年となる、博士課程のMireille Tchapiさんにお話を伺いました。

Tokyo is a tremendous city to live in, and specifically because it has many faces, many atmospheres, from the past to the present and even sometimes with futuristic aspects. One of the most interesting place is definitely Shinjuku, not only because of its status as biggest node and intermodal station, full of movements from the early morning to the last train, but specially because all the faces of Tokyo might be represented in its place. Shinjuku welcomes all kinds of people, from all society's levels, in formal or informal states. Even if commercial aspects of Shinjuku might sometimes give the impression of an over controlled public space by economic actors, in Shinjuku ones can still breathe and has the feeling that no matter what, the space is able to receive its own expression. Walking around and looking back at diverse and many times hidden architectural remainings elements from the past, the detective's eyes and "Flaneur" feeling is awake and can enjoy the unique travel in the past, among Otaku creatures, busy salary men and smiling Obachan.



▲新宿駅前の夜景

M1コンペ佳作入賞!! 第4回愛知建築士会学生コンペ

M1 members got the honorable mention at the planning competition.

10月10日(土)、名古屋市中小企業振興会館・展望ホールにおいて、第4回愛知建築士会学生コンペの二次審査および表彰式が開かれ、M1有志6名がプレゼンテーションを行いました。結果は佳作。惜しくも優秀賞には選ばれませんでした。研究室では久々のコンペ入賞となりました。

text_suzuki

提出作品「パーキング社会圏」は、現在対象地の三河田原駅前に広がる駐車場を、車社会において最も人が集まる公共空間と捉え、時代のニーズに合わせて駐車場に集合住宅を建てていくという提案です。時代の変化や田原市の今後の課題を捉えたシステムの提案は、「緻密」であると山本理顕審査委員長から評価された一方で、居住環境として魅力に欠けるという厳しい意見もありました。残念ながら、結果は優秀賞にはあと一歩及ばず佳作でしたが、メンバーで長時間にわたり議論し、一つの作品としてまとめ上げ、多くの人々の前で発表できたことは、貴重な体験でした。



▲作品に対する意見を頂いている様子



▲作品「パーキング社会圏」の鳥瞰イメージ図

佐原PJ、香取市長を前に堂々の発表 -清見屋デパート跡地の提案-

Proposal of redevelopment area in front of Sawara .Sta by Sawara PJ members.

香取市佐原駅前再生の課題である「清見屋デパート跡地再開発」に対して、10月14日(水)に佐原PJチームが香取市長に開発案を提出。提案内容は市の現状と今までの計画を踏まえ、施設プログラム、施設設計、開発プログラム、事業インパクト、などの総合的な内容になっています。

D1 パンノイ ナッタボン

清見屋デパートは佐原と周辺地域で一世を風靡した商業施設だったが、70年代より佐原駅前商店街の衰退と共に商業成績が悪化し、90年代に営業停止に追い込まれました。清見屋デパート跡地は地域再生に大きなポテンシャルを持っているため、香取市は佐原駅前再開発の一環として清見屋デパート跡地再開発に乗り出しています。佐原PJチームはそれに対して、確実に進行している少子高齢化時代に向けて、清見屋デパート跡地を「香取市民の新たな生活拠点」として、子供・高齢者施設および文化施設の提案を行いました。プレゼンは無事に行われ、最後に市長及び市の職員から提案の実現に向けた積極的なお言葉をいただき、満足のできる結果となりました。



▲PJメンバー市役所の皆に熱弁をふるう



▲今回の提案の一つである、提案市民が集まれる施設内の中庭のイメージ

プロジェクト報告 Project Reports

高山 八幡祭り調査 M1 黒川 佑人

半年間調査を行い、高山を知り始めた上で見た秋の八幡祭(10月8日、9日)は、初めて見た春の山王祭よりも壮観でした。屋台もさることながら、祭礼を行う住民の方々の歴史文化を誇る表情が印象的でした。今後はよりいっそう身を引き締めて高山の歴史文化と向き合っていこうと思います。



▲祭礼を行う住民の方々の様子

足助 足助祭り調査 text_yamashita

足助祭りに合わせて、10月10、11日に足助を訪問しました。祭りでは普段見掛けない若い人々の姿が多くあり、狭い町中を勢いよく曲がる山車や鼓膜が破れるかというほどの火縄銃の音に、祭りの魅力と迫力を感じました。今回の訪問はこれまであまり見ることができなかった足助の伝統を垣間見る良い機会となりました。



▲山車が町を練り歩く様子

都市デザイン研究室 情報欄

おしらせ 第1回UDCKoコンペティション開催!!

UDCKo 郊外の可能性
「郊外の可能性」
Revision of suburbia

UDCKoのコンペです。が研究室OBの田中大朗さんが副理事長を務めます。

URL:<http://www.udcko.jp/competition/index.html>

11月の予定

11月13-15日	第32回全国町並みゼミ「佐原・成田大会」
11月14-15日	2009年度(第44回)都市計画学会 学術研究論文発表会@長岡技術科学大学
11月19日	2009年度第10回研究会議
11月20日	UDCK3周年記念イベント

編集後記

text_fujii

マガジン編集もついに今号で最後となりました。始めの頃の編集に比べてだいぶ成長した気がします。正直大変だと感じることも多かったのですが、良い経験になりました。

PJ活動も終わり、「修士論文」の生活が始まっていますが、「自分が読みたい論文」を目指して残りの学生生活楽しんでいきたいと思います。